

Schola-hotchkiss 45の視点カード使用説明

イエローカード……34枚

グリーンカード……11枚

これは視点を増やすためのカードです。

人間はどうしても一方的な考えにとらわれがちです。

そんな時にこのカードを使って強制的に別の立場で考えることで、普段とは違った、新しい道が拓けてくるでしょう。

日常生活のなかでルーティンに陥ってしまった家事や

惰性で行われがちな家族行事に新しい視点を送り込みます。

使い方は自由ですが、まずは簡単に使える初級篇をご紹介します。

■初級篇 1

友人の誕生日に何をプレゼントしよう

毎年贈ってるけど、今年は少し新鮮なプレゼントにしたい！

そんな時はこのカードを使いましょう。

家族を巻き込んでワイワイやれば、きっと楽しいイベントにできますよ。

① イエローカードから無作為に一枚ずつカードを引きます。

② 『街の視点で掘る』カードが出ました。

③ 参加者は自由に発言しましょう。

「一緒に街を散歩するなんて、どう？」

「美味しい店、自分が秘密にしたい店を教えるとか？」

「自分の街の特産品をプレゼントにする」なんて答えも。

④ 次に『宇宙人の視点で掘る』カードが出ました。

⑤ 「相手の星座に関するものとか？」

「星に名前をつける権利ってあるらしいね！」

「月の土地を売ってるらしいよ！」

⑥ また引いてみましょう。『ジェンダー視点で掘る』カードです。

⑦ 「男性だったら化粧品をプレゼント。韓国アイドルみたいに！」

「一日異性になれる権利とか？」

「ジェンダーフリーなファッションはどうか？」

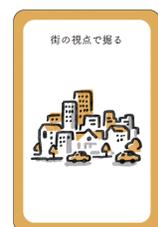
⑧ 最後に出たのは『頂上視点で掘る』カードです。

⑨ 「高いビルの最上階で食事とか？」

「(何かの一番を褒める) 手づくりの賞状を贈る！」

「普段は安いものしか買わないようなものの最上級を贈る?!

例えば、コーヒー豆！」



- ⑥また引いてみましょう。『ジェンダー視点で掘る』カードです。
- ⑦「男性だったら化粧品をプレゼント。韓国アイドルみたいに！」
「一日異性になれる権利とか？」
「ジェンダーフリーなファッションはどうか？」
- ⑧最後に出たのは『頂上視点で掘る』カードです。
- ⑨「高いビルの最上階で食事とか？」
「(何かの一番を褒める) 手づくりの賞状を贈る！」
「普段は安いものしか買わないようなものの最上級を贈る?!
例えば、コーヒー豆！」

贈る相手や予算にもよりますが、
ジェンダーフリーなファッションや最上級のコーヒー豆なんかは
実現性が高く、普段だとなかなか出てこないアイデアかもしれませんね。
ちょっと面倒臭いプレゼント選びがゲームのように楽しむチャンスとなりました。
楽しむコツは出てきた意見を否定しないこと。
実現不可能そうなアイデアも誰かの脳を刺激するスイッチになるはずです。

■初級篇 2

満員電車で肘打ち食らった、どうしよう

ありますよね、こういうこと。
でもその怒りやイライラの矛先を物や人に向けたりしたら、
あなたも肘打ちした人と同類になってしまいます。

- ①イエローカードから無作為に一枚ずつカードを引きます。
- ②『場所フレームで掘る』カードが出ました。
- ③「このご時世に肘が当たる距離にいるのが悪いよ」
「肘打ちした人が悪いんじゃないくて、電車が狭いのが悪い」
「そもそも、都市への人口集中が悪いかもね」なんて答えも。
- ④次に『世界を救う使命感を持ってみる』カードが出ました。
- ⑤「ヒーローだから気にならないぜ。トレーニングの一種だ！」
「この世から満員電車を撲滅してやる！」
「車掌がヒーローになって一曲陽気に歌ってくれたらいいかも」
- ⑥『ジャーナリストになりきってみる』カードです。
- ⑦「肘打ちした人に今どういう心境ですか?と聞いてみる」
「肘打ちコミュニケーションと捉える」
「肘打ちを分類してみるとどうか。
イライラ肘打ち、距離確保肘打ち、このこの～的肘打ちなど」



どうですか？

肘打ちされた事実を客観的に捉えることができたんじゃないでしょうか？

もちろんこれで世の中から肘打ちする人がいなくなるわけではないですが、負の連鎖がなくなっていくでしょう。

これを機会に人口集中の都会から移住しよう！なんて計画が生まれるかもしれません。

こうやってカードを通して自分と向き合うこともできるのです。

■上級篇

気候変動はなぜ起きるのか

問題のレベルが急に大きくなりました。

初級篇は日常に起こる問題や事柄でしたが、

上級篇は身の回りに兆しは感じているけど、扱うには大きすぎる問題です。

その問題を再定義して扱いやすい手頃な大きさにし、

そこから解決案を導き出すまでをやってみたいと思います。

今回はグリーンカードも使用しますよ。

できれば何人かで意見を出し合ってやったほうがいいでしょう。

- ① まずはイエローカードから無作為に一枚ずつカードを引きます。
- ② 『大企業 CEO 視点になりきってみる』カードが出ました。
- ③ 「寒い時期には温暖な場所へ、暑い時には過ごしやすいところへ行くよ。
だから気候が変わっても困らないなあ」
お金持ちらしい発想ですね。
こんな企業とはあまりお付き合いしたくないかもしれません。
- ④ 次に『子ども視点で掘る』カードが出ました。
- ⑤ 「世界の動物が減っていることと、北極の氷が溶けていることは
学校の授業で聞いたよ。でも、よくわかんないなあ」
無邪気というか、子どもらしい正直な意見です。
- ⑥ 出たのは『老人視点で掘る』カードです。
- ⑦ 「季節の変わり目には神経痛が出るねえ。
老い先も短いし、何年も先のことを言われても……」
長生きして欲しいですが、確かに何十年後のことは考えづらいかも。
- ⑧ 今度は『宇宙人視点で掘る』カードです。
- ⑨ 「ワレワレ宇宙人カラスレバ、地球ノオオクノ人ハナニモヤッテイナイ」
宇宙人からしたらそんな風に見えるちゃうのかもしれないですね。
- ⑩ さて、いろんな意見が出揃いました。
「気候が変わっても困らない」「よくわからない」「何年も先のこと」
「多くの地球人は何もやっていない」



あくまでもこれらはカードによって違う視点を獲得したことによって出てきた意見です。これらの意見が良い悪いではなく、一般の人（宇宙人も含む）からすると「気候変動」はこんな捉えられ方なのかもしれません。

とは言え、日本はもちろん世界各地で起こっている災害は無視できません。大きすぎる問題をどうやって手頃な大きさにしていけばいいか。

⑦出てきた意見を見直してみると、どうやら傾向が見えてきました。

多くの人は気候変動による自分への直接の被害を感じていないのではないか。

人間は案外自分の身の回りより外のことに関心が向きづらいです。

日々の雑事に追われていれば、それはなおさらのこと。

そんな人でも問題として捉えてもらいやすいように、

もっとストレスとして感じるようにすればいいのではないか。

⑧ということで、問題を再定義できました。

「実は気候変動によるストレスを感じていない人が多いことが問題だ」

さて、ここからは再定義された問題についてグリーンカードを使用しながら解決案までたどり着いてみましょう。

①ワクワクしながらグリーンカードから一枚選びましょう。

②『意識の切り口で掘る』カードが出ました。

ストレスを感じていない人が多いのならその人たちに「意識」してもらおう。

そのためには目に見えるカタチにする。

さらに、毎日関わるものであればより意識しやすくなるよね。

「日常的に意識してもらうにはどうしたらいいか」

③次は『時間の切り口で掘る』です。

1日の行動を振り返ってみて、どの時間帯が意識しやすいかを探っていきます。

身支度、出勤、買い物、料理、洗濯……。

買い物の時間は身銭を切る時間なので、

ストレスとしてより意識しやすいかもしれません。

プラスチック容器が多いので、ゴミ問題と気候変動をつなげやすでしょう。

大量のプラスチックゴミと接する買い物の時間でできることを探しましょう。

④次に出たのは『仕組みの切り口で掘る』です。

買い物時間で意識に上りやすい仕組みはなんでしょうか。

レジ袋の有料化は最近では意識しやすい取り組みでしたね。

さらに一步踏み込んでみてすべてのプラスチックゴミを

減らす仕組みはないでしょうか。

容器を持参する「量り売り」を取り入れるのはどうでしょう。

オペレーションなど導入にあたっての課題はありますが、

コンビニやスーパーでもらえることが当たり前だった容器を

自ら持参することで、環境に対する意識はさらに高まるかもしれません。



⑤さらに『お金の切り口で掘る』カードを使ってみましょう。

「購入金額の1%を環境対策団体に寄付」することも付与することで、面倒臭いというネガティブな感情も、「いいことに関わっている」というポジティブな行動喚起につながるでしょう。

いかがでしたか？

文章だけではなかなか伝わりづらい部分もあるかと思いますが、

カードの使用法の一例を書かせていただきました。

これらを参考にどうぞみなさんのオリジナルの使い方を開発してみてください。

このカードが豊かな思考ライフの一助になれば幸いです。

Have a good think!